

秋吉台 静かな台地 おだやかな1か月

お正月から数日間はほぼ快晴の好天続きでしたが、次第に下り気味。暖冬とはいえ9日から10日にかけて今冬二度目の積雪となりました。秋吉台は前回ほどの雪景色にはならず、薄っすらと白くなる程度で、また暖かいせいもあって間もなく溶けてしまいました。まだ緑色の部分が残っていたササなども、ほとんどが枯れてしまいました。今月は総じて穏やかな月でした。秋吉台、あとは山焼きを静かに待つだけです。



季節の花 花も実もある秋吉台

タコノアシ 湿地や沼地などに生えるユキノシタ科の多年草。花が終わって茶褐色になった花序がゆでだこの脚を思わせることから命名です。エコフィールドではどこからタネが入り込んだのかは分かりませんが、プランターや植え込みの中に生えています。

ハダカホオスキ 林縁などに自生するナス科の多年草。葉腋からぶら下がって咲いた花の後、直径7mmほどの液果が付き、赤く熟します。毎年見ている場所は、シカに食べられてしまいましたが、別の場所ではたくさん実が目立ちました。

イズセンリョウ 湿気のある林内に生えるイズセンリョウ科の常緑低木。花の後には黄白色の果実がたくさん付くのですが、今年は随分と少ないようです。



観察会 「サンショウウオの観察」 (1月12日)

サンショウウオの観察会を行いました。今回は宇部高校の生徒6名が、探究活動の一環として参加されました。残雪がありましたが穏やかな天気。田んぼのビオトープでアカハライモリの越冬のようすを観察。数百匹はいるかと思われるアカハライモリが集団で折り重なっているのは圧巻です。続いて裏山のため池でヤマグチサンショウウオを観察しました。その後、小さな沢を登ってチュウゴクブチサンショウウオを探しましたが、なかなか見つかりません。今日は出会えないかと思っていた時、「見つかりました」と宇部高校の生徒さんの声。さっそくみんなで観察。今回は2種類のサンショウウオを観察することができました。



観察会 「森の昆虫教室・冬」 (1月18日、1月26日)

観察会「森の昆虫教室・冬(クワガタムシ編)」を行いました。前半は屋外で冬をのりきる昆虫たちのようすを観察しました。卵や幼虫、成虫といろいろな形態で越冬するものなど多様です。中でも枯れ枝にぶら下がったウスタビガの繭は、初めて見ましたがきれいな黄緑色です。後半はレクチャールームに戻って、講師の角田先生が朽ち木を割り、その中で過ごしている昆虫を観察しました。その後ヒラタクワガタの幼虫がプレゼントされ飼育法を学びました。1月26日には同じ要領で「カブトムシ編」を行いました。



花の写真CD 「花も実もある秋吉台」 1作成

今年も花の写真CD「花も実もある秋吉台2024」を作成しました。2024年に撮影した約700種類の花や果実などを1600余枚の写真で紹介しました。今回は秋吉台では初めて確認されたとと思われるクロヤツシロランを加えました。CDは60枚作成で、来館者の方で希望があれば無料でお譲りいたします。



2月の行事

2月28日(土)

「秋吉台の歴史見学」

往時の秋吉台大田演習場の塹壕の跡などを見学しましょう。